

薬剤投与中止に関する指示書の 保険薬局対応手順書

2023年3月

中東遠総合医療センター 薬剤部

I. 目的

中東遠総合医療センターと保険薬局が連携し、術前や検査前中止薬の誤服用を防止するための薬剤管理指導および服薬支援を行うことで、患者に安心かつ安全な医療を提供することを目的とする。

II. 運用フロー

- 1) 主治医より休薬の説明を受け薬剤投与中止に関する指示書が交付される。
↓
入院予定がない場合の順路 → 保険薬局（外来で行くことを勧める）
入院予定がある場合の順路 → 当院薬剤部 → 保険薬局
- 2) 患者が保険薬局へお薬、お薬手帳、指示書を持参する。
↓
- 3) 服用中のお薬と指示書の記載事項に相違がないことを確認し、患者へ説明指導する。
↓
この時、必要に応じて一包化から当該薬剤を抜くなどの服薬支援を行う。
※指示内容に問題がある場合は、医師に疑義照会をする。
- 4) 中止薬の説明内容をお薬手帳へ記載する。
※指示内容の変更や追記が生じた場合は、薬剤部に情報提供する。

III. 保険薬局の対応

- 内容の確認
 - ・ 指示書に記載された患者情報を確認する。
 - ・ 手術日、検査日の確認をする。
 - ・ 中止する薬剤名と中止する期間が適正かを確認する。
- 患者への対応
 - ・ 患者氏名を確認する。
 - ・ 服用中のおくすりを確認する。
 - ・ 中止する薬剤と中止する期間について説明する。
 - ・ 必要に応じて一包化から当該薬剤を抜くなどの服薬支援を行う。
 - ・ 手術を予定している場合は市販薬、健康食品、サプリメントは2週間前から中止するよう指導する
- 薬剤管理指導後の対応
 - ・ お薬手帳へ指導内容（中止する薬剤名、期間など）を記載する。
 - ・ 指示内容の変更や追記が生じた場合は、薬剤部に情報提供する。
 - ・ 手術予定がある患者が再来局した際には、中止指示遵守状況を確認する。

IV. Q&A

Q. 薬剤管理指導・服薬支援をしても中止薬を誤服用してしまった場合の責任は？

A. 適切に説明が行われており薬局側に重大な誤りがなければ、患者さんの自己責任です。

Q. 休薬に該当するお薬が中止指示書に未記載の場合の対応は？

A. 平日日勤帯に疑義照会をして下さい。平日日勤帯では間に合わない緊急の場合には、薬剤部に連絡してください。

Q. 初来局の患者さんが来ることはありますか？

A. 基本的にはないと思いますが、患者さんの希望により来局されることもありますので対応をお願いいたします。